

令和 6 年度

編入学生募集要項

〔編入学案内〕
出願書類添付



願書受付期間	令和5年11月6日(月)～11月8日(水)
試験日	令和5年11月18日(土)
合格発表日	令和5年11月24日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構
大分工業高等専門学校
National Institute of Technology, Oita College

〒870-0152 大分県大分市大字牧1666番地
電話 (097) 552-6359 (学生課教育支援係)
FAX (097) 552-6440 (学生課)
E-mail kshien@oita-ct.ac.jp
ホームページ <https://www.oita-ct.ac.jp/>

編入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

4年次への編入学においては次のような入学者を求めます。

- ① 本校の学習・教育目標を達成する意欲のある人
- ② 総合的に学力の高い人
- ③ 実験や「ものづくり」に興味のある人
- ④ 数学基礎力のある人
- ⑤ 専門基礎力のある人

教 育 目 的

人間性に溢れ国際感覚を備え、探求心、創造性、表現能力を有する技術者の養成

人 材 養 成 に 関 す る 目 的

1. 5年間の一貫教育により、深い専門の学芸と、豊かな教養及び高度な専門技術を身につけた技術者
2. 対象の本質を理解し分析する能力と、モデル化し総合する能力を備え、チームにあっては協調し互いに高め合うことのできる、専門基礎技術力と教養基礎力に裏打ちされた実践的技術者

募 集 学 科 ご と の 人 材 養 成 に 関 す る 目 的

機械工学科

機械工学科は、機械工学を中心とした幅広い学問と豊富な実験実習により、先端技術を含んだ多分野に対応できる人材の養成を目的とする。

この目的を達成するために、①機械の動きを解析・制御する技術、②材料をうまく利用する技術、③加工や製作の技術、④熱やエネルギーを利用する技術、⑤水や空気の流れを利用する技術、を中心とした学問・技術を教授し、これらを統合して社会に役立つものを設計・製作できる能力を培う。

電気電子工学科

電気電子工学科は、電気工学、電子工学分野の素養を持ち、コンピュータや情報通信分野への柔軟な対応力を備えた電気・電子・情報通信に関わる広範な専門分野で活躍できる技術者の養成を目的とする。

この目的を達成するために、豊かな教養、科学する心、デザインする力、協調して実践する力を養い、電力、エレクトロニクス、情報通信、制御システム、コンピュータなどの専門分野の基礎知識と創造的な技術力を培う。

情報工学科

情報工学科は、高度な専門知識と技術をもち、IT社会のさまざまな産業分野で活躍できる人間性豊かな情報工学技術者の養成を目的とする。

この目的を達成するために、数学、物理、プログラミングなどの基礎科目と、①AI・データサイエンス、②ネットワーク・セキュリティ技術、③システム開発技術、④ソフトウェア開発技術、⑤Web系技術、⑥ロボット・組込み開発技術の各分野について実践的に教授する。

都市・環境工学科

都市・環境工学科は、人口減少や少子高齢化にともなう社会構造の変化ならびに大規模地震や気候変動による災害リスクの高まりの中で、土木工学の知識を駆使して、人々の暮らしを守り、社会・経済活動を支える基盤をつくとともに、良質な生活空間の実現に貢献する技術者の養成を目的とする。

この目的を達成するために、①社会資本整備技術、②防災技術、③環境保全技術などについて幅広い知識を教授する。

学習・教育目標

- (A) 愛の精神：世界平和に貢献できる技術者に必要な豊かな教養、自ら考える力、いつくしみの心を身につける
 - (A1) 自ら考える力を身につける
 - (A2) 技術者としての倫理を身につける

- (B) 科学や工学の基礎：科学の粋を極める技術者に必要な数学、自然科学、情報技術、専門工学の基礎を身につける
 - (B1) 数学、自然科学の力を身につける
 - (B2) 情報技術、専門工学の基礎を身につける

- (C) コミュニケーション能力：地域や国際舞台での活躍をめざして、多様な文化の理解とコミュニケーションできる力を身につける
 - (C1) 表現する力、ディスカッションする力を身につける
 - (C2) 英語を用いてコミュニケーションできる力を身につける

- (D) 技術者としてのセンス：創造的技術者としてのセンスを磨き、探究心、分析力、イメージ力を身につける
 - (D1) 探究心、分析力、イメージ力、デザイン能力を身につける
 - (D2) 協力して問題を解決する力を身につける

- (E) 専門工学の活用：専門工学の知識を修得してその相互関連性を理解し、これを活用する力を身につける

令和6年度 大分工業高等専門学校編入学生募集要項

1. 編入学を実施する学科・募集人員及び編入学年

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 電 子 工 学 科		
情 報 工 学 科		
都 市 ・ 環 境 工 学 科		

2. 出 願 資 格

次の各号に掲げる者で、出身学校長が本校の教育に適するものと認めて推薦する者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者で下記 3. 志望学科の条件を満たす者
- (2) 令和6年3月31日までに前号に該当する見込みの者

3. 志 望 学 科

志望学科は出身校における所属学科、又は出身校での教育内容と同系とします。

同系とは、機械工学科……………機械科及び機械系の科

電気電子工学科……………電気科、情報電子科、電子科、その他の工業系で電気・電子・情報系の科

情報工学科……………情報科、情報電子科、電子科、その他の工業系で情報・電気系の科

都市・環境工学科……………土木科、農業土木科、造園土木科、建築科、建設科等

4. 出 願 手 続

- (1) 願書受付

期 間	令和5年11月6日（月）～ 令和5年11月8日（水）
時 間	午前9時 ～ 午後4時 ※郵送の場合も 令和5年11月8日（水）午後4時までには必着
提出先	大分工業高等専門学校 学生課教育支援係 〒870-0152 大分県大分市大字牧1666番地 TEL (097) 552-6359

- (2) 提出方法

編入学志願者は、次の書類等を取りまとめて、出身学校長（卒業見込みの者については、在学する学校長。以下同じ）を経て提出してください。

なお、郵送の場合は書留郵便とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書してください。

(3) 提出書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出 願 書 類 等	摘 要
(a) 編 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要な事項を記入してください。
(b) 受 験 票	
(c) 受 験 写 真 票	令和5年8月以降に撮影した上半身正面向き脱帽の写真（大きさ縦4.0cm、横3.0cm）を、受験写真票の所定の欄に貼付してください。
(d) 推 薦 書	本校所定の用紙に出身学校長が記入作成したものとします。
(e) 調 査 書	出身校所定の用紙に出身学校長が記入作成したものとします。
(f) 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	出身校所定のものとします。
(g) 入 学 検 定 料 「振込金受付証明書」 提 出 票	入学検定料：16,500円 ※別途振込手数料が必要です。 本校所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関で振込み、「振込金受付証明書」（学校提出用）を入学検定料「振込金受付証明書」提出票に貼付してください。
(h) 受 験 票 筒 返 信 用 封	定形（長3号）の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記して、84円切手（速達希望の場合は、別に速達料金分切手）を貼付してください。ただし、願書を持参する場合、切手の貼付は不要です。
(i) あ て 名 票	合格通知書等を発送する際使用するもので、本校所定の用紙（3通分）に、住所、氏名等を記入してください。

※記入の際は必ず黒インク又は黒ボールペン（消せるボールペン不可）を用いてください。

(4) 受験票

出願書類受付後、志願者に受験票を交付します。

【留意事項】

- 提出書類の用紙（募集要項に添付）は本校学生課教育支援係で受け取ってください。
なお、郵送希望者は、請求封筒の表に「編入学生募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒（部数に応じて下表金額の切手（速達希望の場合は、別に速達料金分切手）を貼った角2号封筒、又はレターパック）を同封のうえ、本校学生課教育支援係へ送付してください。

募 集 要 項	1 部	2 部	3～5 部
切 手	210円	250円	390円

- 出身学校長が一括して提出してください。
- 出願手続き後は、記載事項の変更は認めません。
- 受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は納付された検定料の返還請求ができます。
(ア) 検定料を納付したが出願しなかった又は出願したが受理されなかった場合
(イ) 検定料を重複して納付した場合
※返還請求をする場合は、願書受付期間最終日から14日以内に次の請求先までご連絡ください。
請求先：本校総務課財務係 TEL：(097) 552-6190
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消押印し、訂正事項を記入してください。記載事項を削ったもの及び訂正押印のないものは、受け付けません。

5. 選考方法

学力検査、調査書及び面接の結果を総合して選考します。

(1) 学力検査科目及び出題範囲

検査科目は次に示す一般科目及び志望学科が指定する専門科目とします。

	学 科	科 目	出 題 範 囲		
一般科目	各科共通	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B（数列、ベクトル）		100点
		外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ		100点
専 門 科 目	機 械 工 学 科	専門科目Ⅰ	機 械 工 作	機械材料（材料の機械的性質）各種の工作法（鋳造、鍛造、塑性加工、溶接、切断、切削加工、研削加工）工業量の測定と計測機器	100点
			製 図	製図の基礎	
		専門科目Ⅱ	機 械 設 計	機械に働く力（力の釣合い、重心、力と運動、仕事、エネルギー、動力）材料の強さ（引張・圧縮・曲げ・ねじりの応力と変形、せん断力図と曲げモーメント図）	100点
	電 気 電 子 工 学 科	専門科目Ⅰ	電気基礎の中から磁気と静電気、物理基礎の中から電気、物理の中から電気と磁気		100点
		専門科目Ⅱ	電気基礎の中から直流回路、交流回路、各種の波形、電気計測		100点
	情 報 工 学 科	専門科目Ⅰ	プログラミング技術	プログラミング技法、アルゴリズム、流れ図、データ構造、基本的なプログラミング（C言語）	100点
			コンピュータシステム技術	コンピュータシステムの構築、ネットワーク技術、データベース技術、情報媒体の活用技術	
		専門科目Ⅱ	電 気 基 礎	直流回路、交流回路、磁気と静電気	100点
			ハードウェア技術	コンピュータの電子回路、コンピュータの構成、コンピュータによる制御技術、マイクロコンピュータの組み合わせ技術	
	都 市 ・ 環 境 工 学 科	専門科目Ⅰ	土木構造設計	土木構造力学（土木構造物と力、静的構造物の計算、材料の強さと部材の設計）	100点
専門科目Ⅱ		測 量	測量の基礎、平面の測量、高低の測量	100点	

(2) 学力検査、面接日時、検査場及び集合時刻等

(a) 学力検査、面接日時

令和5年11月18日（土）	時 間	科 目
	9：00～10：20	専門科目Ⅰ
	10：40～12：00	専門科目Ⅱ
	12：00～12：50	昼 食
	12：50～13：50	外 国 語
	14：05～15：05	数 学
	15：20～	面 接

- (b) 検査場 大分工業高等専門学校
- (c) 集合時刻 志願者は午前8時30分までに検査室に入室してください。
- (d) その他 1. 検査に必要なものは受験票・鉛筆（シャープペンシル可）（和歌・格言等が印刷されているものは不可）・消しゴム（カバーをはずしたもの）です。専門科目では関数電卓（リセットできるもの）も必要です。
腕時計（計時機能のみのもの）は持ち込み可能です。検査室には壁掛時計があります。筆入れ・眼鏡ケース・鉛筆削り・定規・コンパス・分度器等は検査室へ持ち込めません。不要な物は所定の荷物置場に置いてください。
2. 昼食は各自準備してください。
3. 上履きは必要ありません。

6. 合格者発表

令和5年11月24日（金）午前10時、本校内正門横の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに本校ホームページに掲載し、合格者には「合格通知書」を郵送します。

なお、電話等による可否の照会には応じません。

7. 入学確約書の提出

合格通知を受け、本校に編入学の意思がある者は、令和5年12月8日（金）までに「入学確約書」を学生課教育支援係に持参するか、郵送により提出してください。

8. 自然災害に伴う検定料免除の臨時措置について

主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、被災日以降に出願手続を行う入学者選抜において、罹災証明書等の必要書類の提出によって、検定料が免除となる場合があります。

該当する場合には、検定料を振り込む前に本校学生課教育支援係（TEL：(097) 552-6359）までお問い合わせください。

9. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価等入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

10. その他

- (1) 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

大分工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに大分高専学生課教育支援係（TEL：(097) 552-6359）までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。必要に応じて、生徒、生徒の

保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

(2) 本校へのアクセス及び問い合わせ先については、裏表紙を参照してください。

編入学案内

本校の編入学制度は、高等専門学校設立の趣旨に沿って、高等学校の卒業生にも等しく門戸を開こうとするものです。

1. 修業年限

第4学年に編入学し、修業年限は2年となります。

2. 学習・教育目標

本校は、「人間性に溢れ国際感覚を備え、探求心、創造性、表現能力を有する技術者の養成」を教育目的として掲げています。この教育目的を実現するために全学科を1つにした教育プログラム（教育プログラム名：システムデザイン工学プログラム）を設定しており、学習・教育目標として5つの主目標とそれぞれを具体化した11のサブ目標を定めています。第4学年に編入した場合、本教育プログラムの履修対象者となります。

3. 教育課程

教育課程は、一般科目（各学科共通）及び専門科目に分かれ、各学科の授業科目及び単位等は、別表第1及び別表第2の予定です。

なお、編入学生は、第3学年までの単位は修得したものとし、第4・5学年の授業科目を履修します。

4. 課外活動

学生の自主的な活動を通して、楽しみながら学生生活を充実させ、豊かな人間性を育成するため学生全員で構成する「学生会」があります。

学生会は、学校の指導のもとにホームルームを基盤とする活動のほか、多くの学生がクラブに加入して、運動や文化活動に励んでいます。

体育局……野球・バレーボール・バスケットボール・サッカー・卓球・ソフトテニス・陸上競技・柔道・剣道・水泳・ラグビー・少林寺拳法・空手・バドミントン・テニス・弓道
文化局……国際・軽音楽・写真・気象天文・囲碁将棋・吹奏楽・ボランティア・電子計算機・ロボット研究・文芸・茶道・科学・書道・美術

5. 編入学に要する経費

編入時に要する主な経費は、次のとおりです。

- | | |
|------------|---|
| (1) 入 学 料 | 84,600円 |
| (2) 授 業 料 | 前期分 117,300円（年額234,600円）
上記の金額は予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。 |
| (3) 教科書代等 | 約20,000～30,000円（学科によって異なります） |
| (4) 学生会入会金 | 1,000円 |
| (5) 学生会費 | 前期分4,250円（年額8,500円） |
| (6) 研修旅行費 | 約50,000円（旅行時） |
| (7) 同窓会入会金 | 10,000円（5年時に納入） |
| (8) 後援会入会金 | 10,000円 |
| (9) 後援会費等 | 前期分10,000円（年額20,000円） |

6. 入学料及び授業料の免除

(1) 入学料について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡又は風水害等の災害を受けた場合等の事情により納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、徴収猶予を許可する制度があります。

(2) 授業料について

本科4・5年生及び専攻科生は、国の高等教育の修学支援新制度（授業料等減免、日本学生支援機構給付型奨学金の支給の2つの支援）を受けることができます。

この制度は、学ぶ意欲があり、世帯収入や資産の要件を満たしている学生全員が対象で、給付型奨学金と併せて申込みをしていただくことで、授業料等減免を受けることができる制度です。

奨学金の支援区分により、Ⅰ（満額）、Ⅱ（2/3）、Ⅲ（1/3）の授業料免除を受けることができます。その外、災害特例や卓越した学生に対する免除制度もあります。

7. 奨学制度

上記に記載の給付型奨学金の外、日本学生支援機構の規定に基づき学業・人物ともに優れ、学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき選考のうえ奨学金が貸与されます。

第4学年及び第5学年の貸与月額はそのとおりです。

【奨学金の種類と貸与金額】（令和5年度）

種 類		月 額
第一種奨学金（無利子）	自宅通学	20,000円、30,000円、45,000円 から選択
	自宅外通学	20,000円、30,000円、40,000円、51,000円 から選択
第二種奨学金（有利子）	2万円～12万円の範囲で1万円単位で選択	

8. 学 寮

5棟ある学寮の定員は300名（男子240名、女子60名）。現在全学生の約20%がここで生活しています。学校が自宅から遠くて通学できない学生、勉強やクラブ活動などに時間を有効に利用したい学生、寮生活を体験したい学生などが入寮しています。寮の各棟には洗濯機・乾燥機が設置されており、エアコンも完備しています。また共通部分として談話室等があります。女子寮は、平成29年12月に改修工事が竣工し、とても美しく快適な寮として女子学生に好評を得ています。

男子寮は、おおむね学年ごとに分かれており、女子は第1寮に入寮、教員の指導のもとに寮生会役員が中心になって自主的に運営されています。

規律正しい生活の中で、お互いに助け合いながら友情を深めていくことはすばらしい人生経験となることでしょう。

寮経費はそのとおりです。※予定額

【寄宿料】一人部屋800円/月、二人部屋700円/月 【入寮費】3,000円（入寮時のみ）

【管理費】90,000円/年

【食 費】1,200円/日（欠食制度あり）

9. 卒業後の進路

(1) 就 職

これまでの卒業生は日本を担う産業界の最前線に進出しており、高い評価を受けています。

最近の学科別の主な就職先は本校ホームページに掲載の学校要覧をご覧ください。

(URL: <https://www.oita-ct.ac.jp/wpct/yoran>)

(2) 進 学

高専を卒業すると高専専攻科に進学又は大学工学部等の3年次に編入学する道が開かれています。

高専専攻科は、高専本科卒業後さらに2年間、より高度な実践的・研究開発型技術者を育成することを目的として高専に設置されています。大分高専では「機械・環境システム工学専攻（定員8名）」と「電気電子情報工学専攻（定員8名）」の2専攻を設置し、卒業生を受け入れています。（詳細は、教育支援係までお問い合わせください。）高専専攻科を修了後あるいは大学の学部を卒業後、自分の才能を伸ばしたい人は、さらに大学院を受験することができます。

国立大学の大半が高専卒業生向けに編入学生を募集しており、成績優秀な学生に対しては推薦入学制度もあります。本校からも毎年多数の者が編入学しています。本校卒業生の主な編入学先は本校ホームページに掲載の学校要覧をご覧ください。（URL: <https://www.oita-ct.ac.jp/wpct/yoran>）

別表第1

一 般 科 目

(各学科共通)

平成31年度～令和3年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
国 語 総 合	4	2	2					
現 代 文 学	2			2			留学生以外に対して開講	
地 域 日 本 文 学	1				1		留学生以外に対して開講	
日 本 語 表 現 法	1				1		留学生以外に対して開講	
現 代 社 会	1	1						
政 治 ・ 経 済	1	1						
日 本 史	2	2						
世 界 史	2		2					
倫 理	2		2					
地 理	2			2			留学生以外に対して開講	
技 術 者 倫 理 ・ 技 術 史	1				1			
基 礎 数 学 I	4	4						
基 礎 数 学 II	3	3						
微 分 積 分 I	4		4					
微 分 積 分 II	4			4				
線 形 代 数	4		4					
微 分 方 程 式	1			1				
生 物 学	2	2						
総 合 理 科	1			1				
物 理 I	3	3						
物 理 II	3		3					
化 学 I	2	2						
化 学 II	3		3					
保 健 ・ 体 育	9	2	2	2	2	1		
英 語 I A	2	2						
英 語 I B	2	2						
英 語 II A	2		2					
英 語 II B	2		2					
英 語 III A	2			2				
英 語 III B	2			2				
英 語 IV	2				2			
選 択 必 修	音 楽	1	1				1科目修得 (同時開講)	
	美 術	1	1					
	書 道	1	1					
日 本 語 I	4			4			留学生に対して開講	
日 本 語 II	2				2		留学生に対して開講	
小 計	85	29	26	20	9	1		
選 択 科 目	経 済 学 概 説 I	1				1	文系選択Ⅰ (同時開講)	
	法 学 概 説 I	1				1		
	経 済 学 概 説 II	1				1	文系選択Ⅱ (同時開講)	
	法 学 概 説 II	1				1		
	歴 史 学 概 説 I	1					1	一般選択Ⅰ
	歴 史 学 概 説 II	1					1	一般選択Ⅱ
	心 理 学	1					1	(同時開講)
	実 用 英 語 I	1					1	外国語選択Ⅰ (同時開講)
	資 格 英 語 I	1					1	
	中 国 語 I	1					1	
	ト イ ツ 語 I	1					1	
	実 用 英 語 II	1					1	外国語選択Ⅱ (同時開講)
	資 格 英 語 II	1					1	
	中 国 語 II	1					1	
ト イ ツ 語 II	1					1		
数 学 特 論 I	1					1		
数 学 特 論 II	1					1		
小 計	17	0	0	0	4	13		
開 設 単 位 数 合 計	102	29	26	20	13	14		
履 修 可 能 単 位 数	85	27	26	16	9	7		

別表第2

専 門 科 目

(機械工学科)

令和2年度入学生から適用

	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	応 用 物 理 I	2			2			
	応 用 物 理 II	2				2		
	工 学 基 礎	1	1					
	応 用 数 学 I	1				1		
	応 用 数 学 II	2				2		
	応 用 数 学 III	1				1		
	機 械 工 作 法 I	2		2				
	機 械 工 作 法 II	1			1			
	工 業 力 学	2			2			
	材 料 力 学 I	2			2			
	材 料 力 学 II	2				2		
	材 料 学 I	1			1			
	材 料 学 II	2				2		
	機 械 設 計 法 I	1			1			
	機 械 設 計 法 II	4				4		
	機 械 力 学 I	1				1		
	熱 力 学	2				2		
	水 力 学	2				2		
	伝 熱 工 学	1					1	
	機 構 学	2			2			
	情 報 工 学 I	1			1			
	情 報 工 学 II	1				1		
	制 御 工 学 I	1					1	
	メカトロニクス	2					2	
	機 械 製 図 I	2	2					
	機 械 製 図 II	2		2				
	機 械 製 図 III	1			1			
	P B L	1			1			
	エンジニアリングデザイン	2					2	
	機 械 実 習 I	4	4					
	機 械 実 習 II	4		4				
	工 学 実 験 I	4			4			
	工 学 実 験 II	4				4		
工 学 実 験 III	2					2		
設 計 製 図 I	2				2			
設 計 製 図 II	2				2			
設 計 製 図 III	2					2		
キャリアデザイン	1				1			
卒 業 研 究	11					11		
小 計	83	7	8	18	29	21		
選 択 科 目	半 導 体 デ バ イ ス 概 論	1				1		
	機 械 数 学	1				1		
	エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学	2				2		
	機 械 力 学 II	1				1		
	制 御 工 学 II	1				1		
	計 測 工 学	1				1		
	防 災 工 学 概 説	1				1		
	校 外 実 習	(1)				(1)		
課 題 学 修							単位数は別に定める	
小 計	8	0	0	0	1	7		
開 設 単 位 数 合 計	91	7	8	18	30	28		
履 修 可 能 単 位 数	91	7	8	18	30	28		

別表第2

専 門 科 目

(電気電子工学科)

令和2年度入学生から適用

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	応 用 数 学 I	1				1	
	応 用 数 学 II	2				2	
	応 用 数 学 III	1				1	
	応 用 物 理 I	2			2		
	応 用 物 理 II	2				2	
	電 磁 気 学 I	4			4		
	電 磁 気 学 II	2				2	
	電 気 回 路 I	1	1				
	電 気 回 路 II	2		2			
	電 気 回 路 III	2			2		
	電 気 回 路 IV	2				2	
	電 気 回 路 V	2				2	
	情 報 処 理	4	4				
	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2		2			
	ア ル ゴ リ ズ ム	1			1		
	電 子 回 路	2			2		
	電 子 回 路 設 計	2				2	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 I	1			1		
	デ ィ ジ タ ル 回 路 II	1				1	
	電 子 工 学	2				2	
	電 気 計 測	2				2	
	電 気 機 器 工 学 I	2			2		
	電 気 機 器 工 学 II	2				2	
	発 変 電 工 学	1					1
	制 御 工 学 I	1					1
	コ ン ピ ュ ー タ	2				2	
	通 信 工 学 I	1				1	
	電 気 演 習 I	2	2				
	電 気 演 習 II	1		1			
	工 学 実 験 I	3		3			
工 学 実 験 II	4			4			
工 学 実 験 III	4				4		
デ ザ イン 実 習	2					2	
カ リ ア デ ザ イン	1				1		
卒 業 研 究	11					11	
小 計	77	7	8	18	29	15	
選 択 科 目	半 導 体 デ バ イ ス 概 論	1				1	
	パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ク ス	1				1	
	送 配 電 工 学	1				1	
	電 気 材 料	2				2	
	高 電 圧 工 学	1				1	
	電 気 設 計	1				1	
	シ ス テ ム 工 学	1				1	
	制 御 工 学 II	1				1	
	通 信 工 学 II	1				1	
	情 報 理 論	1				1	
	ネ ッ ト ワ ー ク ア ー キ テ ク チ ャ	1				1	
	電 気 法 規	1				1	
	防 災 工 学 概 説	1				1	
	校 外 実 習 課 題 学 修	(1)				(1)	
小 計	14	0	0	0	1	13	
開 設 単 位 数 合 計	91	7	8	18	30	28	
履 修 可 能 単 位 数	91	7	8	18	30	28	

単位数は別に定める

別表第2

専 門 科 目

(情報工学科)

令和2年度～令和3年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
応 用 数 学 I	1				1		
応 用 数 学 II	2				2		
応 用 数 学 III	1				1		
応 用 物 理 I	2			2			
応 用 物 理 II	2				2		
コ ン ピ ュ ー タ 基 礎	2	2					
情 報 リ テ ラ シ	2	2					
論 理 数 学	1			1			
電 子 回 路	2			2			
電 気 回 路	2			2			
コ ン ピ ュ ー タ ネット ワ ー ク	2			2			
シ ス テ ム デ ザ イ ン	1			1			
デ ィ ジ タ ル 回 路	1				1		
デ ィ ジ タ ル 回 路 演 習	2				2		
離 散 数 学	1				1		
情 報 理 論	1				1		
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2				2		
デ ー タ ベ ー ス	2				2		
符 号 理 論	1				1		
コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ	2				2		
情 報 数 学	2				2		
ア ル ゴ リ ズ ム と デ ー タ 構 造	2				2		
形 式 言 語 理 論	1					1	
メ デ ィ ア 情 報 処 理	1					1	
多 変 量 解 析	1					1	
数 値 解 析	1					1	
オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム	1					1	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 I	2	2					
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 II	2		2				
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 III	2		2				
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 I	2			2			
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 II	2			2			
工 学 実 験 基 礎	1	1					
工 学 実 験 I	2		2				
工 学 実 験 II	2		2				
工 学 実 験 III	2			2			
工 学 実 験 IV	2			2			
工 学 実 験 V	2				2		
工 学 実 験 VI	2				2		
キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1				1		
卒 業 研 究	10					10	
小 計	75	7	8	18	27	15	
選 択 科 目							
イ ン タ フ ェ ー ス デ ザ イ ン	1				1		
組 込 み シ ス テ ム	1				1		
組 込 み シ ス テ ム 演 習	2				2		
制 御 工 学	1				1		
半 導 体 デ バ イ ス 概 論	1				1		
デ ー タ サ イ エ ン ス	1					1	
デ ー タ サ イ エ ン ス 演 習	2					2	
メ カ ト ロ ニ ク ス	1					1	
ソ フ ト コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ	1					1	
コ ン ピ ュ ー タ セ キ ュ リ テ ィ	1					1	
コ ン ピ ュ ー タ セ キ ュ リ テ ィ 演 習	2					2	
自 然 言 語 処 理	1					1	
ネ ッ ト ワ ー ク プ ロ グ ラ ミ ン グ	1					1	
防 災 工 学 概 説	1					1	
校 外 実 習 課 題 学 修	(1)				(1)		単位数は別に定める
小 計	17	0	0	0	6	11	
開 設 単 位 数 合 計	92	7	8	18	33	26	
履 修 可 能 単 位 数	92	7	8	18	33	26	

別表第2

専 門 科 目

(都市・環境工学科)

令和2年度入学生から適用

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	都市・環境工学概論	2	2				
	プログラミング基礎	2		2			
	応用物理Ⅰ	2		2			
	応用物理Ⅱ	2			2		
	応用数学Ⅰ	1			1		
	応用数学Ⅱ	2			2		
	応用数学Ⅲ	1			1		
	建設工学基礎	1	1				
	構造力学Ⅰ	4		4			
	構造力学Ⅱ	2			2		
	鋼構造学	1			1		
	土質力学Ⅰ	4		4			
	土質力学Ⅱ	2			2		
	地盤工学	2					2
	水理学Ⅰ	2		2			
	水理学Ⅱ	2			2		
	応用水理学	1					1
	河川工学	1					1
	建設材料学	2				2	
	コンクリート構造学Ⅰ	2				2	
	コンクリート構造学Ⅱ	2					2
	都市計画	2				2	
	計画数理学	1					1
	道路工学	1				1	
	交通工学	1				1	
	測量学	2		2			
	応用測量学	1				1	
	環境工学	2			2		
	衛生工学	2				2	
	環境微生物学	2					2
	防災工学	2					2
	実験実習Ⅰ	4	4				
実験実習Ⅱ	4		4				
実験実習Ⅲ	4			4			
実験実習Ⅳ	4				4		
設計製図	2					2	
都市・環境デザイン	2					2	
キャリアデザイン	1				1		
卒業研究	10					10	
小 計	87	7	8	18	29	25	
選 択 科 目	半導体デバイス概論	1			1		
	総合演習	1				1	
	建設振動学	1				1	
	環境計画	1				1	
	校外実習	(1)				(1)	
	課題学修						単位数は別に定める
小 計	4	0	0	0	1	3	
開設単位数合計	91	7	8	18	30	28	
履修可能単位数	91	7	8	18	30	28	

令和6年度 大分工業高等専門学校編入学願書

受験番号	※
------	---

この願書は折らないでください。
裏面注意事項を参照のうえ記入してください。

志願者	ふりがな		志望学科	工学科	
	氏名			履歴	都道府県
	生年月日	平成 年 月 日	平成 令和 年 月 卒 業		
	現住所	〒 都道府県 TEL	都道府県		(学科名) 学校
保護者	氏名		平成 令和 年 月 卒 業		
	連絡先		職歴		
	志願者との続柄		賞罰		
入寮希望の有無		有 ・ 無			

----- 切り離さないでください -----

きりとり線

令和6年度 編入学
大分工業高等専門学校

受験写真票	
受験番号	※
志望学科	工学科
ふりがな	
氏名	平成 年 月 日生
<p>写真貼付欄</p> <p>1. 写真は上半身正面向き、脱帽で令和5年8月以降撮影したもの。</p> <p>2. 写真の大きさ (縦4.0cm 横3.0cm)</p> <p>3. 全面にのりづけしてください。</p>	

令和6年度 編入学
大分工業高等専門学校

受験票		
受験番号	※	
志望学科	工学科	
ふりがな		
氏名	平成 年 月 日生	
試験日時		
月日	時間	科目
11月18日 (土)	9:00 ~ 10:20	専門科目Ⅰ
	10:40 ~ 12:00	専門科目Ⅱ
	12:00 ~ 12:50	昼食
	12:50 ~ 13:50	外国語
	14:05 ~ 15:05	数学
	15:20 ~	面接

切り離さないでください

注 意

1. ※印の欄は記入しないでください。
2. 記入事項は黒インク又は黒ボールペン（消せるボールペン不可）を用い、楷書で
はっきり書いてください。
3. この願書は他の書類と一括して提出してください。
4. 出願後の記載事項の変更は認めません。
5. 記入事項のない欄は斜線を引いてください。

注 意

1. 受験票は、学力検査の際は机の上に置いてください。
2. 受験票は大切に保管し、紛失しないよう注意してください。
面接時にも必ず持参してください。
3. 机の上に置けるものは、受験票、鉛筆（シャープペンシル可）（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、消しゴム（カバーをはずしたもの）、関数電卓（リセットできるもの）、腕時計（計時機能のみのもの）です。
4. 携帯電話等の通信機器は受付時に預かり、面接終了後に返却します。
5. 昼食は各自準備してください。
6. 上履きは必要ありません。

受験番号	※
------	---

推 薦 書

令和 5 年 月 日

大分工業高等専門学校長 殿

学 校 名

校 長 氏 名

職印

下記の者は、学業成績・人物ともに優秀であり、貴校に編入学するのにふさわしい者と認めて推薦します。

記

ふりがな				
氏 名		男・女	出身学科	科
生 年 月 日	平成 年 月 日		志望学科	工学科
卒業又は卒業見込年月	平成・令和 年 月 卒業・卒業見込			
学 業 成 績 位 順	1 年	2 年	3 年 (1 学期)	
	人中 位	人中 位	人中 位	
推 薦 理 由				
記載責任者氏名 (自署)				

- (注) 1. 推薦理由の記入については、本人の学業・人物・特別活動・態度等について具体的に記入してください。
2. ※印欄は、記入しないでください。

令和6年度 大分工業高等専門学校編入学
入学検定料「振込金受付証明書」提出票

受験番号	※
------	---

志望学科	工学科
------	-----

氏名	
----	--

銀行受付印のある**振込金受付証明書（学校提出用）**を貼付してください。
ゆうちょ銀行から振込みを行った場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)【お客さま控】」
を貼付してください。

※印の欄は記入しないでください。

選抜結果通知用（本人宛）

郵便番号：	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
住所：			
氏名：			様 <input type="text"/>
電話番号：			

入学手続き書類送付用（本人宛）

郵便番号：	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
住所：			
氏名：			様 <input type="text"/>
電話番号：			

選抜結果通知用（学校宛）

郵便番号：	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
住所：			
学校名：			学校長 殿 <input type="text"/>
電話番号：			

あて名票

志願者本人の郵便番号、住所、氏名等を2カ所、志願者の出身学校の郵便番号、住所、学校名等を1カ所記入してください。
集合住宅の場合は、マンション・アパート名、棟番号等も記入してください。
※印の欄は記入しないでください。

※ <input type="text"/>

大分工業高等専門学校案内



- ❶ JR高城（たかじょう）駅から徒歩約25分
- ❷ 大分駅前6番のりば〔地図参照〕から
 - ・萩原・アクロス前経由「明野団地」行き（D 40、D 41、D 42）
 - ・萩原・アクロス前経由「パークプレイス」行き（D 46、D 47）で「大分高専」下車（所要時間約20分）
- ❸ JR大分駅からタクシー（所要時間約15～20分）
- ❹ 東九州自動車道を利用の場合・・・「大分米良IC」より車で約15分
「大分宮河内IC」より車で約15分

【入試に関する問い合わせ】

大分工業高等専門学校 学生課教育支援係

TEL：(097) 552 - 6359 月曜日～金曜日 8：30～17：00（祝日を除く）